

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援くるみ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 7月 22日		～ 令和 7年 9月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和 7年 10月 1日		～ 令和 7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達段階に応じた個別活動と集団活動が出来る	・ 個々のニーズに合わせた個別療育の実施を軸に、日常動作訓練、創作的活動、集団生活適応訓練を日々の活動に取り入れている。 ・ 聴覚や集中力、自発性、表現力などへの働きかけを行っている。	・ 個別療育を保護者様に分かりやすくフィードバックできるツールの活用を強化する。
2	季節毎のプログラムや行事がある	・ 日々の活動や行事の経験を通してルールを理解できるよう指導する。 親子遠足、参観日、夏祭りやクリスマス会等のイベントに保護者に参加して日々の様子が知れるようにしている。	支援プログラムのフィードバックや新しい取り組みの会議を開催して立案している。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業運営。	・ 季節の行事等近隣の方の観覧等はあるが、地域と一緒に行う行事等を行えていない。	地域に開かれた事業運営に向け、検討していく。
2	専門的支援の強化	・ 個々のニーズに合わせた個別療育の実施を行っており、個別の専門的支援の質の向上に努める必要がある。	・ 専門的支援の計画的な支援の実施を図る。
3			